

Title	介護サービス市場において介護事業者が競争優位を獲得する条件
Sub Title	
Author	高橋, 学(Takahashi, Manabu) 岡田, 正大(Okada, Masahiro)
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	2016
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 2016年度経営学 第3171号
Genre	Thesis or Dissertation
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00002016-3171">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00002016-3171</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

慶應義塾大学大学院経営管理研究科修士課程

学位論文（ 2016 年度）

論文題名

介護サービス市場において介護事業者が競争優位を獲得する条件

主 査	岡田 正大 教授
副 査	大林 厚臣 教授
副 査	後藤 励 准教授
副 査	

氏 名	高橋 学
-----	------

## 論文要旨

所属ゼミ	岡田 正大 研究会	氏名	高橋 学
(論文題名)			
介護サービス市場において介護事業者が競争優位を獲得する条件			
(内容の要旨)			
<p>我が国の社会保障費の増大に伴い、介護事業者は、効果的かつ効率的なマネジメントが求められている。中でも地域包括ケアシステムが提唱され、高齢者介護の担い手として訪問介護の重要性は以前にも増して高まっている。しかし、半数の訪問介護事業者は赤字経営に陥っており、どのような介護サービスをどのような形で供給するかは重要な経営課題となっている。</p> <p>本研究では、訪問介護事業者が安定した経営を行うために、現在直面している経営課題を解決することを目的としている。その中で、利用者が全額自費負担する保険外サービスに注目した。保険外サービスが訪問介護事業者の収益に与える影響を検証するため、訪問介護有識者、訪問介護事業者、ケアマネージャーを対象にインタビュー調査を実施した。</p> <p>分析の結果、保険外サービスは訪問介護事業者の収益に直接的には寄与していないことが示唆された。保険外サービスのプライシングにあり、保険外サービスの価格は原価に近い価格に設定され、収益に対し負の影響を与えていた。一方で、保険外サービスは、事業者の独自のサービスであることから、他の事業者との差別化という重要な役割を果たしていた。つまり、保険外サービスは、他の訪問介護事業者との差別化をもたらし、利用者数を増やし、保険内サービスと一体となることで収益を高めることが明らかとなった。</p> <p>次に、保険外サービスがサービス受給プロセスにおいて、どのように差別化の役割を果たしているのかについて検討した。調査では、介護サービス利用者のサービス受給プロセスにおいて重要な役割を果たすケアマネージャーにインタビューを実施した。さらなるインタビュー結果をもとにグラウンデッド・セオリー・アプローチを用いて、介護サービス受給プロセスに影響を与える因子の関連図を作成した。その結果、ケアマネージャーは、ケアプラン作成時の事業者選択において、事業者の保険外サービスに加え、事業者の理念にも注目していることが明らかとなった。つまり訪問介護事業者は、単に保険外サービスを供給するだけでなく、そのサービスを供給する事業所の姿勢、すなわち経営理念を策定が求められることが明らかとなった。</p> <p>これらのことから、訪問介護事業者は、利用者目線の経営理念と保険外サービスのバランスをとりながら経営をすることが求められていることが示唆された。</p>			